

河川等水質調査結果

「きれいな川」はみんなの願い

町では、毎年定期的(年4回)に河川などの15箇所水質調査を行い、監視および汚濁防止に努めています。

また、国では、健康の保護および生活環境を保全するうえで維持することが望ましい基準として環境基準を定めています。「生活環境の保全に関する環境基準」に基づいた千曲川における基準値と、調査を行った河川・用水の測定結果は下表のとおりです。

PHは1箇所、BODは2箇所、SSは1箇所基準値を上回りましたが、DOはすべての箇所基準値を満たしています。大腸菌についてはこれまで

大腸菌群数を調査していましたが、自然由来の細菌も含んだ値が検出されると考えられ、令和4年4月より大腸菌のみを調査するよう国の基準が見直され、今回4箇所基準値を上回っています。

皆さんの環境に対する意識の向上や下水道の普及などにより、水質は改善傾向にあります。が、河川の水質汚濁の原因として生活排水の影響も考えられます。使用したテンプラ油を直接流さないなど、家庭から出る水を汚さないようにしましょう。

★河川へのごみの不法投棄や農薬の投棄は絶対にしないでください。

主な河川・用水の水質調査結果

過去5年間の結果については、町ホームページに掲載しています。

調査日 令和6年3月4日

調査項目	pH	BOD	SS	DO	大腸菌数
千曲川の基準値	6.5~8.5	2以下	25以下	7.5以上	300以下
単位	—	mg/ℓ	mg/ℓ	mg/ℓ	CFU/100mℓ
①六ヶ郷用水上流	7.8	1.7	6	11	42
②出浦沢川	7.3	1.1	1未満	11	160
③六ヶ郷用水下流	7.8	4.0	88	11	200
④福沢川	7.6	1.5	2	10	50
⑤宮沢川	7.9	1.9	3	12	1,100
⑥日名沢川	7.9	1.4	1	12	210
⑦前田用水	8.8	1.5	1未満	16	46
⑧入田川	8.0	1.2	2	11	36
⑨反町川(御堂川)	8.0	1.4	2	11	59
⑩中之条用水下流	7.7	1.6	3	11	11,000
⑪前沢川	7.2	1.3	2	11	960
⑫谷川	7.7	1.0	1未満	12	50
⑬塚田用水	7.9	17.0	15	11	1,000
⑭中之条用水・塚田水分岐点	7.9	1.4	6	12	220
⑮欠口用水	8.1	1.5	6	12	100

用語解説

pH…水中の水素イオン濃度を示します。値が7の時は中性、これより高くなればアルカリ性が、低くなれば酸性が強くなります。

BOD(生物化学的酸素要求量)…河川などの汚れの程度を示すもので、微生物によって消費される酸素の量です。値が高いほど有機物の量が多く、汚れていることを示します。

SS(浮遊物質)…粒径2mm以下の水に溶けない物質です。水の濁りの原因となるので浮遊物が有機性である場合は腐敗し、水質が悪化します。

DO(溶存酸素)…水中に溶け込んでいる酸素の量です。水の自浄作用や水生生物の生存には欠かせないもので、清浄な河川に有機物の流入量が多くなり汚濁が進行すると、値が減少します。

大腸菌数…人や動物の腸管に常存し、糞便汚染を捉えるための指標です。

問い合わせ先

住民環境課環境保全係
☎82-3111(内線125)
直通75-6204

